

研究機関：広島大学

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】

研究課題名	胎盤の機能・形成不全が原因と考えられる産科疾患の分子・細胞生物学的病因解析
研究責任者名	大学院医系科学研究科産婦人科学 助教 杉本 潤
研究期間	2018年10月(倫理委員会承認後)～2027年10月
対象者	平成20年9月から平成30年9月の間に、広島大学病院産婦人科で分娩における付属器官(胎盤および卵膜)の摘出、または広汎子宮全摘等の摘出手術を受け、病理検体が保存されている患者。および本研究について説明を受け、文書による同意をされた患者さん。
意義・目的	妊娠高血圧症など胎盤の形成に問題がある産科疾患に関して、その原因はほとんど解明されていません。今回、胎盤形成過程で重要な役割をもつと考えられる遺伝子群に関して遺伝子解析、機能解析を行い、これら疾患の治療・予防に貢献しようと、この研究を計画しました。
方法	<p>利用する試料・情報、遺伝子解析研究であること、他機関に提供する場合には提供方法がわかるように記載ください。</p> <p>本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。手術の際に摘出された胎盤、子宮組織の一部と血清サンプル、診療録(カルテ)情報(性別、血液検査等)を用います。</p> <p>試料・情報等は名前などがわからないようにした上で、広島大学産婦人科教室(研究責任者 杉本 潤)で胎盤の形成、機能不全に関連する遺伝子(内在性レトロウイルス配列、細胞融合関連遺伝子等)の解析を行います。</p>
共同研究機関	<p>名古屋市立大学不育症研究センター 杉浦 真弓</p> <p>広島大学に情報を集め広島大学(研究責任者 杉本 潤)が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学 杉本 潤
個人情報の保護について	<p>本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会・疫学研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に試料・情報を提供したくない場合は以下の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞1-2-3</p> <p>広島大学病院産婦人科教室 職名 助教 杉本 潤</p> <p>Tel : 082-257-5262 E-mail : juns@hiroshima-u.ac.jp</p>